

(様式3)

事業所名 バンドー 北欧の里

目標達成計画

作成日: 平成28年2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	立地条件より地域との交流を図る事に困難がある	地域密着を心がけホームからの働きかけを継続していく。	近隣に民家が増えることを期待せず、こちらより地域の行事に積極的に出かける又はホーム行事にお一人でも多くの人参加をいただく。定期的外出(受診等)の際の知人との再会などを大切にし接触を試みるなどし機会を逃さない。推進会議の御参加も募る。	12ヶ月
2	19	馴染みの方々との関係を継続する事に困難がある	ご希望に合った活動ができるようにしたい。	「会いたい方・行きたいところ」などないか常に心がけ、行動・情報に気遣いながら支援する。面会を期待しない限りお会いできる機会が無く、徐々に面会は少なくなっていくのは必須なので、ホーム行事などの案内やお誘いを御家族様を通して行うなどし参加をいただけるように努力する。入居後の馴染みの関係も大切にしたい。	12ヶ月
3	25	チームで作る介護計画を目指している	受け持ち介護従事者としての自覚の向上を図り、各受け持ち入居者のプラン作成に至るまでの工程すべてに関わることができるようにする。	受け持ち介護者は月一回のカンファレンスで、その時期のアセスメント・モニタリングの実際を行い皆に情報提供する。プランの更新時期には聴取した「ご本人の意向と御家族の意向」を大切に掲げた話し合いに持って行くようにする。等充実していきたい。	12ヶ月
4	31	重度化や終末期に向けた方針が周知されていない	御家族・本人のご希望に応じた対応ができるようにしたい。	環境・設備的に不十分なことは否めないが昨年の計画的な「看取り」体験を期にスタッフの意識に変化ができています。今後も医療との連携が取れれば受け入れる可能性はあることを皆で自覚し、高齢者の急変・緊急時の対応含め学習を継続していく。	12ヶ月
5	50	居心地の良い共用空間作りができているか?	ホール以外でも配慮を怠らず各所での快適な過ごし方ができるように皆で心がける。	玄関・廊下・ホール・台所・浴室・トイレなど全域にわたり皆さんが混雑混雑をしない環境や使用方法に留意できるよう毎月のカンファレンスの業務検討で話し合う。又同じく、生活感や季節感に配慮したその時期のできることの検討も継続していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。